

7インチワンセグ付き ポータブルナビゲーション OT-N707K 用

本体操作説明書

Ver 1.0

※ナビゲーション操作については、
別冊「ナビゲーション操作説明書」をご覧ください。



- この度は、7インチワンセグ付きポータブルナビゲーションをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく理解されてからお使いください。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管してください。
- 最終ページに保証書が付いています。お買い上げ日、販売店名の記載もしくは同内容の記載された書類とともに大切に保管してください。

～～ご使用上の注意～～

ご使用前に、必ず本書および付属の説明書をお読みいただき正しくおつかいください。

ご注意！

＜＜内蔵リチウムイオン充電式バッテリーについて＞＞

- ・炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では使用したり放置したりしないでください。

リチウムイオンバッテリー内部で異常な化学反応が起こり液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- ・強い衝撃を与えたり、鋭利なもので刺したり叩いたりしないでください。

リチウムイオンバッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

- ・充電温度範囲は0 ～ 45℃で行ってください。

リチウムイオンバッテリーが急激に加熱されたり密閉状態が保てなくなり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。また、バッテリー性能の低下や寿命が短くなることがあります。

炎天下の車内や直射日光の強いところなど高温になるところで使用したり放置したりしないでください。

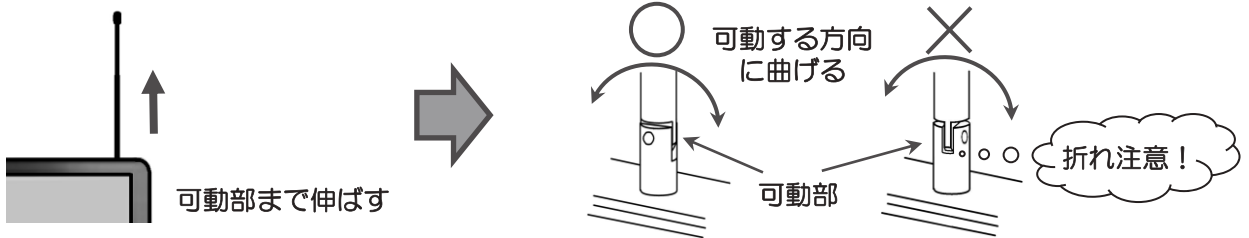
ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで保管してください。

ご使用になる前に

<<アンテナ折れに注意！>>

アンテナは無理に動かさないでください。

可動可能な方向以外に曲げた場合、折れる恐れがあります。



<<SDカード、電源アダプターについて>>

- SDカードの必要以上の抜き差しはおひかえください。抜き差しする場合は、SDカードの端子部（金属部）には触れないでください。（故障の原因となります）
- 車載用DCアダプターの必要以上の抜き差しはおひかえください。（故障の原因となります）抜き差しを行う際は、まっすぐに抜いてください。ねじったりすると故障の原因になります。
- 車載用DCアダプターやコードを必要以上に動かしたりさわったりしないでください。（接触不良の原因となります）
- 付属の車載用DCアダプターはDC 12VからDC 24Vまで使用可能です。DC 12V車、DC 24V車のシガープラグへ直接接続してください。
- 電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがあります。社外の変換器などのご使用によって発生した不具合については当社はその責任を負いかねます。

<<登録情報について>>

大切な情報（地点登録など）は、万が一に備えてメモなどバックアップをおとりください。

修理の際は、初期状態に戻すことがありますのでその際は必ずバックアップをおとりください。

~~こんなとき~~

◆電源がはいらない。

充電が0になると電源コードをつないでも電源がはいりません。

その際は、電源コードをつないで一時間以上充電後、電源をいれてください。

しばらく画面が立上りますが、電源をOFFにして充電をしてください。

（製品電源がONの状態では充電をすると、満充電するまで時間がかかります）

◆タッチパネルがうまく動作しない。

液晶パネルに貼ってある透明の保護フィルムをはがしてください。

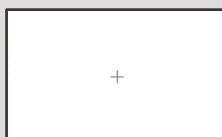
◆画面が真っ白になる。（画面のポイント補正モードになる）

画面のタッチパネルのタッチ位置の補正の画面になっています。

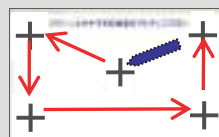
画面補正を行ってください。

※必ず付属のスタイラスペンのような先の細いものでタッチしてください。

指のように接触面積が広いと、タッチ位置が読み込めず何度も繰り返すことがあります。



白画面になったとき



「+」を順に
長押しする

初めてお使いになるときに

～初期設定について～

＜＜パネルの保護フィルムについて＞＞

ご使用になる前に輸送用保護フィルムは剥がしてください。

貼ったままでは画面上に縞模様がでたりタッチスイッチの動作不良になることがあります。

＜＜ナビゲーションのご使用の前に＞＞

ご使用前に、GPS衛星からの情報を受信できることをご確認ください。

屋外の上空の開けた場所で、現在地表示するまでお待ちください。

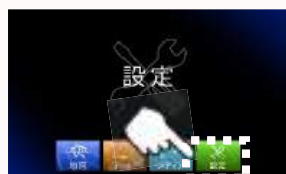
初めて使用する時や前回使用した場所から離れている場合、数十分かかる場合があります。動かさずにお待ちください。

～受信状況確認する場合～

一度ナビを終了して「設定」→「GPS情報」タッチにて受信状況確認できます。

設定のページ

衛星の受信状況



＜＜テレビの設定＞＞

テレビをはじめてご覧になる前に、

チャンネル設定（スキャン操作）を必ず行ってください。

●スキャンは受信環境の良いところでしばらく静止して安全を確認の上、スキャンしてください。

※詳しくは18～19ページをご覧ください。

＜＜お車への取付＞＞（運転の前に必ず確認してください）

- ・お車への取付の際は、視界を確保した上しっかりとゆるみのないことを確認してください。※詳しくは12～15ページをご覧ください。
- ・直射日光の当たる場所などに長時間放置しないでください。

夏場など高温時に長時間放置していると、スタンドの吸着力が弱くなったり、本体製品やスタンドなどの変形により落下してけがをしたり、故障の原因となることがあります。しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。

目次

1. はじめに	-----1
2. 安全上のご注意	-----2
3. 使用上のお願い	-----6
4. 商品構成	-----9
5. 各部の名称	-----10
6. リセット機能	-----11
7. 車への取付け	-----12
8. 本体電源の取扱方法	-----17
9. ワンセグTV	-----18
9-1. チャンネル設定（スキャン操作）	-----18
9-2. ワンセグTVをみる	-----20
9-3. ワンセグTVの各種設定	-----20
9-3-1. 設定「チャンネル」	-----21
9-3-2. 設定「基本設定」	-----21
9-3-3. 設定「ビデオ」	-----22
9-3-4. 設定「情報」	-----22
9-4. ワンセグTV（EPG番組表）	-----23
9-5. ワンセグTV（録画／再生）	-----24
10. メディア(動画、音楽、写真)	-----25
10-1. 動画	-----26
10-2. 音楽	-----27
10-3. 写真	-----28
11. 設定	-----29
11-1. ボリューム 設定	-----29
11-2. バックライト 設定	-----30
11-3. 日付・時間 設定	-----30
11-4. 画面補正 設定	-----31
11-5. GPS 情報	-----31
11-6. ナビ 設定	-----32
11-7. 言語 設定	-----32
11-8. ファクトリーリセット 設定	-----33
11-9. システム 情報	-----33
12. ソフトウェア仕様	-----34
13. ハードウェア仕様	-----35
14. 困った時には	-----36
15. お問い合わせ先	-----37
保証書	-----巻末

1 はじめに

この度は当社ナビゲーションをお買い求めいただき誠にありがとうございます。
快適にご使用していただくために下記説明を補足いたします。ご一読いただき
正しくお使いください。

本書の画像写真やイラストは説明のため、実物と異なる場合がありますが、
ご了承願います。

GPSナビゲーションとは

本機に搭載されておりますGPSによるナビゲーションシステムは、衛星
よりの位置情報を補足することで目的地までのナビゲーションを行う
システムです。従いまして、GPSナビゲーションは車速やジャイロを使用
して自車位置と目的地までの到着ルートを算出するナビゲーションとは仕様
が異なりますのでその特性をご理解の上、ご使用下さいますようお願い
致します。

<<GPSナビゲーションの特性>>

- ①天候・道路環境・建物環境などによっては、正確なルート表示・案内が
行われない場合があります。
- ②設定されたルート通りの走行を行わなかった場合などリルート機能により
頻繁に目的地までの再計算を行います。場合によっては搭載されている
CPUに負荷が掛かりフリーズする場合があります。この場合は本機の
リセットボタンを使用することで復元されます。トンネル内や道路事情・
建物環境によってGPSが衛星を補足する条件が悪化した場合にはこれら
の環境が改善された場合でも正しい動作をしない場合がありますので
ご了承願います。
- ③電源をOFFする際、スリープモードと電源OFF（完全に電源を切る）
モードがあります。スリープモードの場合、ナビのデータを記憶している
ため時々CPUに負荷がかかる場合があります。この場合は本機のリセット
ボタンを押してください。
- ④電源投入後しばらくの間は現在地の測位を行いますのでルート設定出来
ない場合があります。目安は本機の画面上に現在時間が表示されますと
測位完了しております。ルート設定や各種機能进行操作される場合は
建物障害の無い安全な場所に停車して行ってください。運転中の操作は
絶対におやめください。
- ⑤はじめてお使いのときや前回使用したときから遠く離れたのち電源を
入れたとき、GPS衛星からの位置情報が大きく変わりデータ量が
多くなるため、数十分時間がかかる場合があります。
(コールドスタートと呼びます。)
いったん受信完了し測位出来ましたらその後は、GPSからの受信は速く
なります。

※本機はGPS専用ナビゲーションです。みちびき等他の衛星を利用した
システムではございません。

2 安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■表示の意味

表示	表示の意味
 危険	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が死亡または重傷(*1)を負う可能性が高いことを示します。
 警告	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されることを示します。
 注意	この表示を無視し取扱いを誤った場合人が傷害(*2)を負う、又は物的損害(*3)の発生が想定されることを示します。

■図記号の意味

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘ は、禁止(やってはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は、指示する行為の強制(必ずすること)を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、骨折、中毒、感電などの後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

異常を感じたとき

警告

●煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認しお買い上げの販売店又はサポートセンターにご連絡ください。

●内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

●落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店又はサポートセンターに点検をご依頼ください。

●電源コードが傷んだり、プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと



プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店にまたはサポートセンターに交換をご依頼ください。

使用するとき

- 修理・分解・改造しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはサポートセンターにご依頼ください。

- 内部に異物を入れないこと



異物挿入禁止

針やクリップなどの金属類、紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災や感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 雷が鳴り出したら本機や電源プラグに触れないこと



接触禁止

火災・感電の原因となります。

- 水に濡らしたりしないこと



水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。飲み物をこぼしたりしない。また雨天、降雪時や海岸、水辺でのご使用時は特にご注意ください。

- 歩行中や乗り物を運転しながらの使用時は周囲の安全を十分注意し直視しないこと



禁止

交通事故の原因となります。

- ルート案内中でも、常に実際の交通規則に従う



禁止

交通事故の原因となります。

— ⚠ 注意 —

- ヘッドホン、イヤホン等をご使用になるときは音量をあげすぎないこと



禁止

大きな音量で聞くと聴覚機能に悪影響をあたえることがあります。

- 電源を入れる前には音量を最小にすること、外部接続時はその音量を最小にすること



指示

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 液晶画面の破損により液体が漏れてしまった場合、液体を吸い込んだり飲んだりしないこと



禁止

中毒をおこすおそれがあります。万一、目や口に入った場合は、水で洗い医師の診察を受けてください。

設置するとき

— ⚠ 警告 —

- 屋外や風呂、シャワー室など水のかかる恐れのある場所には置かないこと



風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

●ぐらついたり傾いた所など不安定な場所や振動のある場所には設置しないこと



禁止

本機が落下して、けがをしたり、故障、破損の原因となります。

●ひざの上などで使用するなど直接肌にふれないこと



禁止

低温やけどの原因となります。
(低温やけどは体温より高い温度のものを長時間あてていると発生するやけどです。)

———⚠ 注意 ———

●温度の高い場所に置かないこと



禁止

直射日光の当たる場所・締め切った車内、ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因および破損、部品の劣化となることがあります。

●湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと



禁止

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災や感電の原因になります。

●風通しの悪い場所で使用しないこと



禁止

内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、温度上昇により動作不安定になることがあります。

●本機の移動させる場合は、DCアダプターやその他外部接続線ははずすこと



指示

配線を抜かずに運ぶとコードが傷付き火災・感電の原因となったり、落下によるけがの原因となることがあります。

車載用DCアダプターについて

———⚠ 警告 ———

●DCアダプターを分解、改造、修理しないこと



分解禁止

火災・感電の原因となります。

●DCアダプターは付属のものを使用すること



禁止

指定以外のシガーアダプターを使用すると火災・故障の原因となることがあります。

●DCアダプターのコードは下記注意してください。

- ・傷付けたり、加工したり、加熱したりしないこと
- ・引張ったり、重いものをのせたりはさんだりしないこと
- ・無理に曲げたりねじったり束ねたりしないこと



指示

火災・感電の原因となります。

●DCアダプターはDC12V～24V対応です。電源変換器は使用しないこと



禁止

電圧変換器（DC-DCコンバータ）を使用すると故障の原因になることがあります。

●時々電源プラグを抜いて接点をきれいに掃除すること



指示

電源プラグの絶縁低下により火災の原因になります。

— 注意 —

●ぬれた手でDCアダプターを抜き差ししないこと



指示

感電の原因になります。

●電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張って抜かないこと



指示

コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷つき、火災・感電の原因となります。プラグを持って抜いてください。

●旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

万一故障したとき、火災の原因となる場合があります。

●付属のDCアダプターを本機以外の他の用途に使用しないこと



禁止

本機以外の他の用途に使用すると、火災・故障の原因となります。

●電源プラグはソケットの奥まで確実に差し込むこと



指示

確実に差し込んでいないと、火災・感電の原因となります。

●注意事項

- ・GPS電波が受信できない場所（建物の中、地下、見晴らしの悪い場所等）でナビゲーション機能は利用できません。また、悪天候、車内の無線機器、フロントガラス反射材などによる障害により利用できない場合もあります。
- ・GPS衛星は、米国国防総省により運用されていますが、GPS衛星の精度低下や故障によって不都合が生じる場合があります。
- ・サージ電流からの保護のためにエンジン始動後にシガー電源を接続することをお勧めします。
- ・液晶画面は、傷つきやすい硬いものでタッチしないでください。
- ・初回の充電は電源OFFにして充電し、高温、高湿度の場所で充電は行なわないでください。また、電池保護のため長時間使用しない場合でも2週間に1度など定期的な充電をお勧めします。
- ・地図や検索で使われる情報は、その正確性、最新性について現状と異なる場合がありますのでご注意ください。
- ・本機を廃棄される際は、お客様が登録したデータが流出する可能性がありますので、登録内容を完全に消去してから廃棄されることをお勧めします。

●免責事項

- ・本製品の提供するすべての情報について、その正確性、有用性、最新性、適切性など何ら法的保障をするものではありません。
- ・お客様または第三者が本製品を利用、また使用不能によって生じた損失、損害には一切責任を負いかねます。
- ・お客様または第三者による本製品を利用しての事故や業務上の損害、お客様が入力したデータの消失による損害も保障いたしません。

3 使用上のお願い

取扱いについて

- 液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。カバンに入れたり、体に身につけたりした場合にも十分ご注意ください。
 - 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルが傷つかないようにしてください。
 - 殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
 - 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
 - 長期間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。
- ※液晶、タッチパネルの破損は補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

置き場所について

- 直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。変形、変色、故障や発火の原因となります。
しばらくお使いにならない場合は、取り外して日のあたらない場所に保管してください。
- 本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

- 本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。
割れたり変色したり塗装はがれの原因となります。
- 液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

メモリーカード（microSDカード）について

- メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 抜差しする場合には、メモリーカードの端子（金属部）には触れないでください。
- メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
- 通常のご使用でデータが破損（消滅）することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損（消滅）することがあります。記録されたデータの破損（消滅）については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メモリーカードを本機に差し込むときは、上下（表裏）の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。

- メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
- 強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
- 高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
- メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには静電気防止ケースに入れてください。
- 直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると破損、故障の原因になることがあります。
- ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
- 本機から取り出したメモリーカードが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。

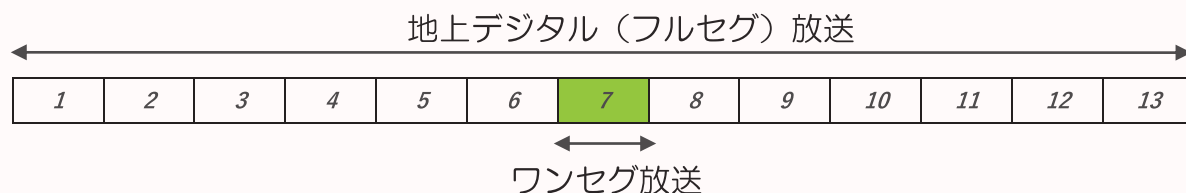
テレビ受信について

- ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合必ずスキャン操作をしてください。スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
- スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局が変わる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
- 本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。
- 建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

<<ワンセグとは>>

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。詳しくは社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)のホームページ (<http://www.dpa.or.jp/>) をご覧ください。

放送エリアのめやすは (<http://dpa-tv-area.jp/>) にてご確認ください。



フルセグに比べ、ワンセグはデータが軽いため弱い電波でも受信が可能で
高速移動中でも広範囲で受信が可能です。

ワンセグについての注意

放送エリア以外の地域では視聴できません。必ずご使用する地域で放送局のスキャンをして受信できる放送局を設定してください。

放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承ください。

受信状況が最も良くなるようにアンテナの設定を調整してください。

<<TVの設定>>

本製品をはじめてご使用になる前に、下記の方法で地上波デジタルワンセグ放送を受信するためのチャンネル設定を行って下さい。使用する地域で受信可能な放送局を自動的に選局して記憶いたします。(スキャン操作) 移動したときや引っ越しなどで受信地域が変わった際にも再度設定してください。スキャンを行う時は受信状況の良いアンテナ設定後行ってください。

チャンネル設定（スキャン操作）

①アンテナの準備

本体の右上についているアンテナを引き延ばしてください。

※アンテナの向きは受信良い位置に調整してください。

<注意>

※無理にアンテナを動かしますと曲がったり折れたりします。

①アンテナを引き延ばす

※アンテナの向きは受信の良い位置に調整してください。

②チャンネル設定（スキャン操作）

(1) 「メインメニュー」の「テレビ」アイコンをタッチします。

(2) 安全のための警告の内容を確認しましたら「確認」をタッチし、ワンセグTVの操作画面を表示させます。

(3) ワンセグTVの操作画面の「設定」 ボタンをタッチします。

(4) 地域ボタンを「A11」または現在の地域～都道府県の順にタッチします。

(5) 「スキャン」ボタンを押し、お近くの受信可能な放送局を選局します。スキャン後、探し出した受信可能な放送局を抽出します。

(6) 「適用」を押し受信可能な放送局を記憶させます。

(7) チャンネルリストからお好みのチャンネルを選び視聴してください。

また、チャンネル「+、-」ボタンで選局もできます。

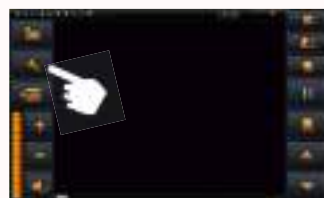
②-(1) 「テレビ」をタッチ



②-(2) 「確認」をタッチ



②-(3) 「設定」 をタッチ



②-(5) 「スキャン」をタッチ



②-(6) 「適用」をタッチ



チャンネル
設定完了

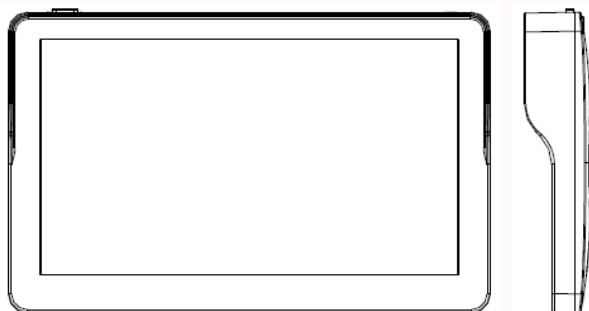
「A11」又はお住まいの「地域」をお選んで「スキャン」をタッチする。
※放送局がうまく取れない場合は、「A11」を選んでスキャンしてください。

スキャンが終わると
「スキャン完了」
が表示

4 商品構成

本機を使用する前に、本体および付属品の確認を行ってください。

① 本体



② 車載用DCアダプター



③ 車載用吸盤スタンド



④ 吸盤ベース板

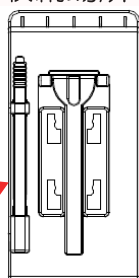


⑤ スタイラスペン
(車載用スタンド裏に付属)



スタイラスペン位置

スタイラスペンの
収納場所



⑥ 取扱い説明書
(本体操作説明書／ナビゲーション操作説明書)



⑦ 滑り止めシート

本製品の緩衝用包装材としてクッションシートを
付属しています。

このシートは、滑り止めシートとしてお使いいただけます。

<ご注意>

炎天下や火のそばなどの60℃以上になる高温の場所では
長時間放置したりしないでください。
はり付きや色移りになることがあります。
ご使用後は、取り外して日陰など60℃以下のところで
保管してください。



滑り止めシート

※イラスト、画像が実物と
異なる場合があります。

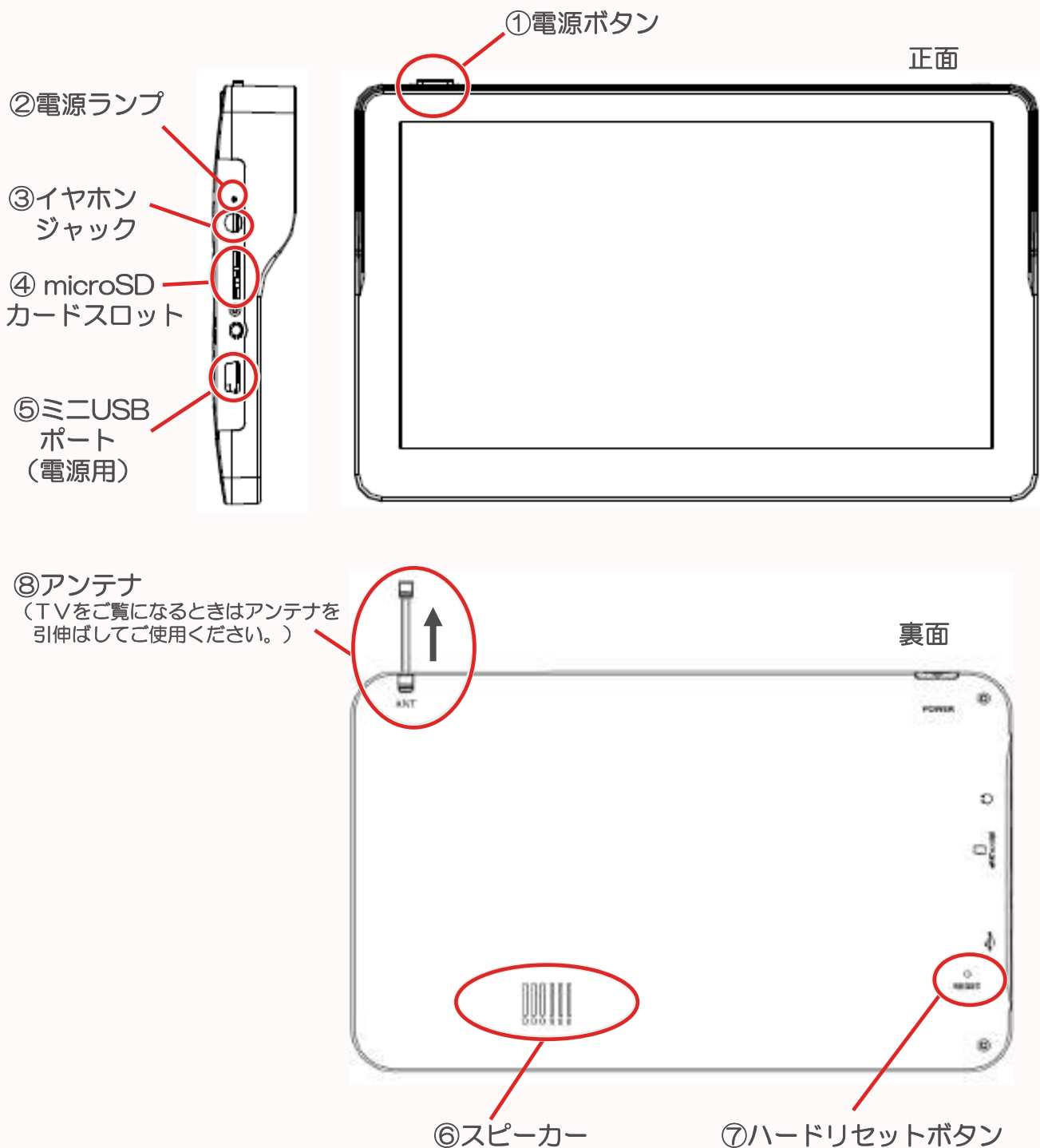
5 各部の名称

電源ランプについて

充電中：赤点灯

充電完了：消灯

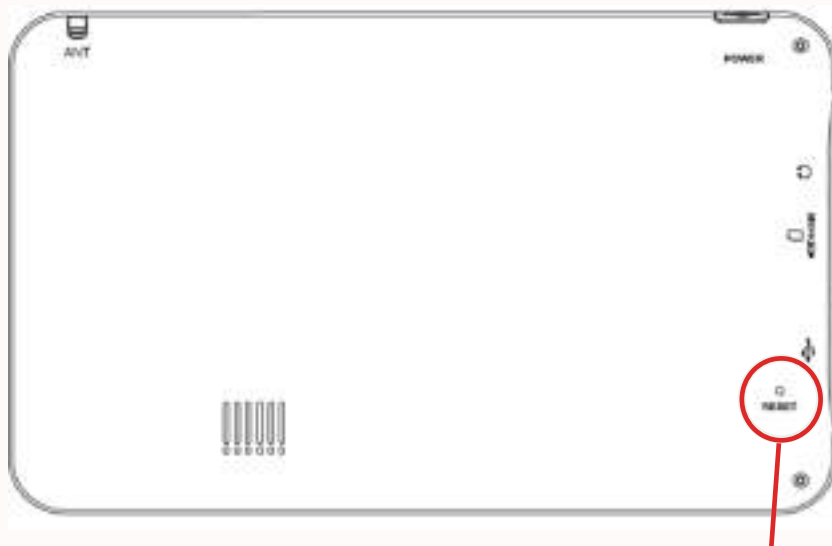
バッテリー駆動時：緑点灯



6 リセット機能

【ハードリセット】

本機になんらかの障害が発生しハードリセットを行う場合は、クリップのような細くて折れにくいもの（先のとがっていないもの）でハードリセットボタンを軽く押し、ハードリセットを行ってください。



ハードリセットボタン

※メニュー操作中や地図表示中になんらかの原因で画面がフリーズしてしまった場合は、上記のハードウェアリセットボタンを先の細いもので押してリセットを行ってください。

パネルの保護フィルムについて

本機種は出荷時に液晶パネル面に製造時および輸送時のキズ防止のために、保護フィルムが貼られています。

ご使用になる際は、剥がしてお使いください。

貼ったままにしていると、画面上に縞模様がでたり、タッチパネルのタッチスイッチの動作不良になることがあります。



保護フィルムをはがす。

7 車への取付け

前方視界基準について

国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に従って、運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付けてください。

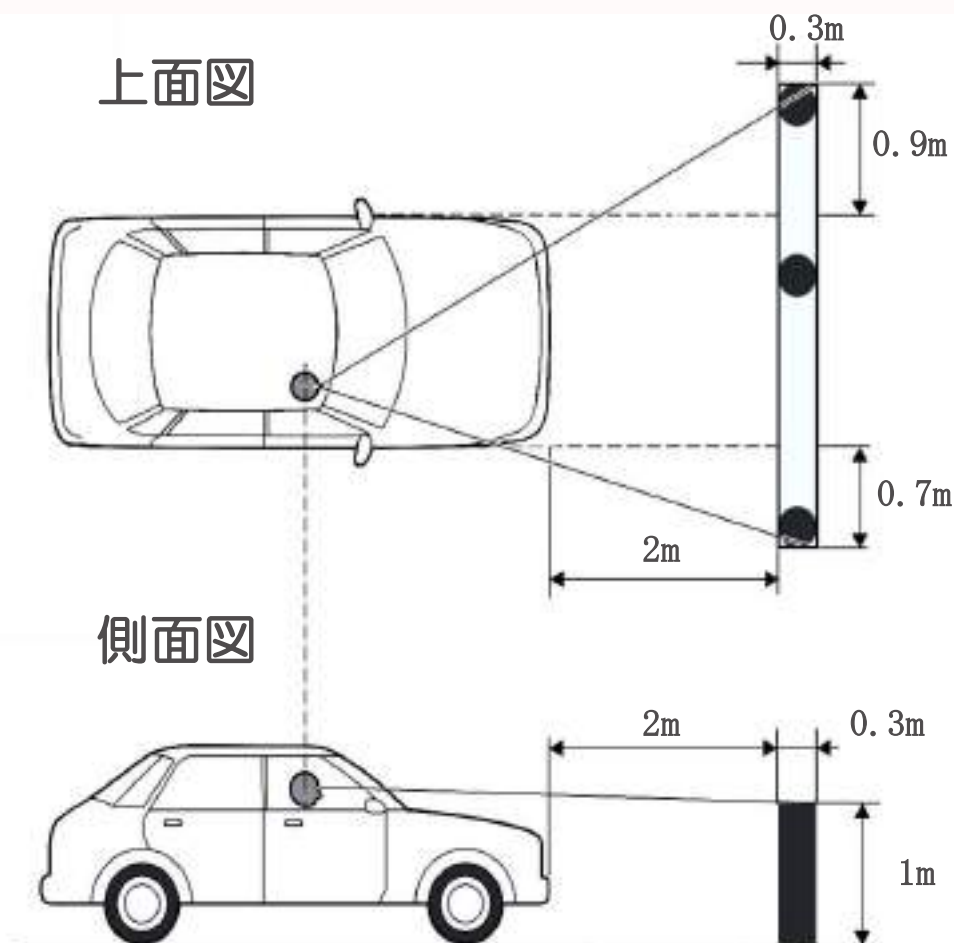
前方視界基準

●対象車両

専ら乗用の用に供する自動車（乗車定員11人以上のものを除く）
車両総重量が3.5トン以下の貨物自動車

●基準概要

自動車の前方2mにある高さ1m、直径0.3mの円柱
（6歳児を模したもの）を鏡等を用いず直接視認できること。



※図は右ハンドル車の例です。左ハンドル車の場合は、左右が逆になります。

取付けについてのご注意

- 付属のスタンドを使用してください。
- エアーバックカバー部及び作動時の妨げになる場所には取付けないでください。
(取付けについては安全を考慮して、ディーラーや販売店にご相談ください。)
- フロントガラスには取付けないでください。
- スタンドを取り付ける際は、凹凸の無い平らな面をお選びください。
- 柔らかい材質、布製、革製の面には取付けできません。
- 下記のような場所には取り付けないでください。
※スタンドが落下するおそれがあります。

・密着しない曲面 ・密着しない曲面 ・傾いた面 ・不安定な面 ・垂直な面
例) 凸面 例) 凹面



- ダッシュボード上に吸着ベース板を貼る際は、**前方視界を十分に確保**でき
安全基準を満足できる位置を決定後貼り付けてください。
- 吸着ベース板を貼り付ける前にワンセグTV用アンテナを伸ばしフロントガラス
等にあたらないことを確認してください。
- 吸着ベース板を貼付け位置が決定したら、貼付け面のほこりや油分などを十分に
ふき取ってから貼り付けてください。
- 市販の両面テープ前処理剤等を使用するときれいにふき取れます。
使用される場合は説明書をよくお読みになり、貼り付け面にはがれ、変形、
割れ等の不具合の無いこと確認の上、取説に従ってご利用ください。
- 両面粘着テープの貼付けは一回のみです。**貼り直しはしないでください。**
(貼付け強度が極端に落ち、落下の恐れがあります。)
- 両面粘着テープは貼付け直後は接着強度が弱いので、24時間以上おいてから
製品を取り付けてください。
- 両面粘着テープを剥がすときは、強力な粘着テープを使用しているため、
貼付け面を傷めたり、破れたりすることがあります。
- ご使用になるまえに、吸盤、ロック、粘着テープ等が**確実に取付いていることを**
確認してからご使用ください。
- **直射日光の当たる高温になる場所に長時間放置しないでください。**
発火、変形、劣化による落下の原因になることがあります。

<<注意>>

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる場所でご使用になる場合
ご使用にならないときは外して高温にならないところで保管してください。
また、長時間車から離れる場合は本体をホルダーから外し保管してください。
落下による故障の原因になる場合があります。

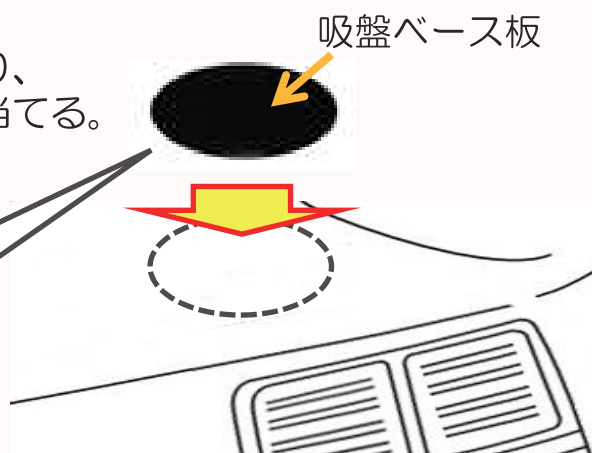
スタンドの取付け方法

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

運転中に前方の視界や、エアバックなどの妨げにならないようにダッシュボード上などに取付位置を決めます。

①吸盤ベース板の貼付け

貼付面のほこりや油分などをきれいにふき取り、両面テープの台紙をはがし取付面に強く押し当てる。
(貼付け後は24時間以上置いてください。)



②スタンドの組立て

- デバイスホルダーの4個の穴にスタンドのフック部を入れる。
- スタンドのフック部にカチッとロックするように、デバイスホルダーを矢印の方向に両手でスライドさせる。

※デバイスホルダーは強度上ロックを強くしています。スライドさせる際は強めに押してください。

※デバイスホルダーとスタンドが組立状態で納入されている場合は、フック部がしっかりロックされていることを確認下さい。

※デバイスホルダーをスタンドから外してお使いの際は、逆方向に両手でスライドさせてはずしてください。

ホルダーの穴をスタンドのフックに合わせる。



デバイスホルダーを矢印の方向にスライドさせる。



スタンドのフック部



③スタンドの固定

吸着ベースの表面をきれいにふき取りスタンドを置き、レバーを倒して固定する。

※形状、イラストは実物と異なる
ことがあります。

④製品の固定

スタンドの下のツメに合わせ製品本体をカチッとロックする。
(上のツメがカチッとロックしたことを確認してください。)

上ツメ部

カチッ！

下ツメ部

下のツメ部を合わせ上をロックする

※上のツメを親指で、はさむように強く押してください。
液晶パネル面には触れないようにしてください。

⑤角度調整

固定ナットをゆるめ、お好みの
角度に調整して固定ナットをしめる。

ゆるめる

しめる

固定ナット

＜＜ 注意 ＞＞

運転前に必ず、吸盤、固定ナット、粘着テープ、ロック
が確実に取付いているか確認の上ご使用ください。

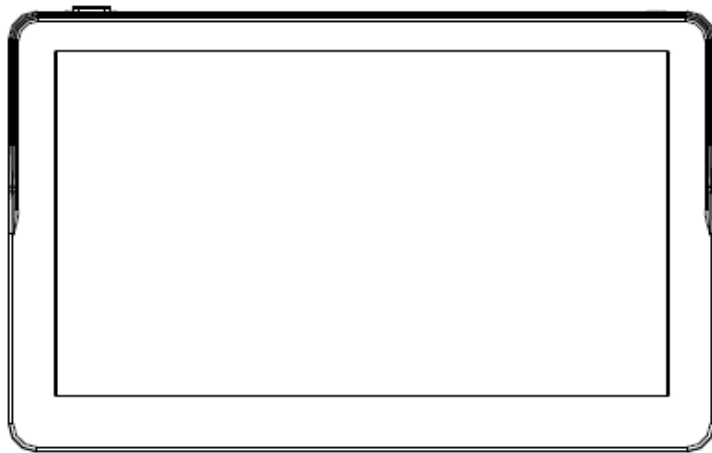
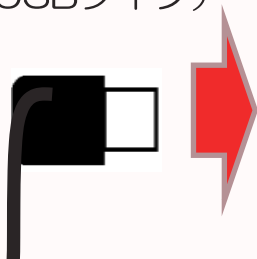
※万が一、落下等による液晶、タッチパネルの破損がございましたも、
補償対象外となりますのであらかじめご了承ください。

電源配線の方法

※形状、イラストは実物と異なることがあります。

- ①DC電源アダプターの端子側面の電源ソケット（miniUSBタイプ）に接続する。

電源用端子
（miniUSBタイプ）



※本体への接続時、ソケットにストレスがかからないように接続してください。
プラグやソケットの接続不良になる場合があります。

- ② DCアダプターを
車のシガーソケットにさす。

※シガーソケットの中に異物がないことを確認してから挿入してください。
※DCアダプターは真直ぐにゆっくりさしてください。
※奥までしっかりとさして下さい。
※配線は運転に支障の無い様に配線してください。

※配線する場合は、アダプターの根元から折り曲げないようにしてください。
断線、発火の原因になることがあります。



8 本体電源の取扱方法

電源のON/OFFの操作方法についてご案内いたします。

1. 車載用DCアダプターの使い方

本機は、お車のシガーソケット（DC12Vまたは24V）より付属アダプターを使用して、本体に5Vを供給し駆動します。

2. イグニッションキー連動電源ON/OFF機能について

本機は、電源の連動ON/OFF機能（オートスタート機能）を搭載しています。お車のシガーソケットに接続した場合、イグニッションキーのON/OFFで本体の電源も自動的にON/OFFができていへん便利です。

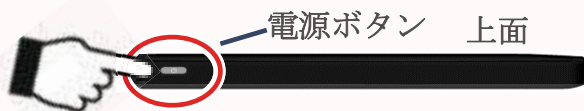
※シガーソケットの電源ON/OFFがイグニッションキーに連動しているお車に限ります。

※アイドリングストップ車の場合、エンジン再始動時に電源がオフする場合がございます。

3. 電源の入れかた／切りかた

<電源を入れるとき>

- ①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
- ②起動画面が表示されます。
- ③しばらくすると
設定メニューが表示されます。



起動画面



設定メニュー

<電源を切るとき>

- ①電源ボタンを長押しする。
（約3秒間押し続ける。）
- ②終了画面が表示され、
約5秒後に自動的に切れます。
 - ・「電源オフ」を押すとすぐに電源が切れます。
 - ・「スタンバイ」を押すとスタンバイモードになり再度電源を入れるとき早く立ち上がります。
 - ・「キャンセル」を押すと元の画面に戻します。



スタンバイ

電源オフ

キャンセル

※ナビ使用時に電源ボタンを短押しした場合、メニュー画面に戻りますが、他のモードに切り替える場合はナビを終了してから切り替えてください。

4. 充電のしかた

- ①車載用DCアダプターを接続します。（充電中は電源ランプが赤点灯）
- ②電源ボタンOFFにして充電を開始します。
- ③電源ランプが消えれば充電完了です。（フル充電時間約4時間）

※ご使用環境により変動します。

※充電残量が0になった場合、アダプターをつないでも電源が立ち上がらない場合があります。
その際は電源OFF状態で、充電を十分におこなってから電源をいれてください。